

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 4月 15日

アンケート期間:令和 3年 4月 5日~令和 3年 4月 12日

事業所名 Jr. Jump(Jr. Jump)

保護者等数(児童数) 25 回収数 18 割合 72 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○					活発に活動するスペースは確保しています。今後もサービスの向上に努めます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	○					職員の配置は、基準を上回る配置をしています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	○					平成29年度完成の事業所のため、考えられる配慮は施しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	○					アセスメント及びモニタリングにより、それぞれのお子さんの放課後等デイサービス計画を作成しています。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	○					工夫しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				○	コロナ禍のため、一緒に活動は難しいと思います。	コロナ禍の前は、児童クラブなどとの交流は行っていました。終息したら再開したいと思います。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○					契約時にご説明させていただいております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○				なかなかお話ができません。	課題に関しては、支援計画のもと共通認識が図られていると考えております。ただし、それ以外に何かあればその都度、共通理解が図れるよう取り組みます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○					保護者の方から特段の意見はいただきませんでした。コロナ禍の中でもしっかりと共通理解ができるよう努めます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				○	参加できてないので分かりません。	同上
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○					今後も苦情対応マニュアルに基づき適切に対処してまいります。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○					今後も適切に対処してまいります。

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか				○	ホームページ等見ていないので、分かりません。	約半数の保護者の方がHPを見ていなかった。更なる情報発信に努めます。
	14	個人情報に十分注意しているか	○					今後も個人情報保護マニュアルに基づき適切に対応して参ります。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	○				マニュアルがあることを知らないです。あればまた教えてください。	新型コロナウイルス感染症については、まずBCPの策定をいたしました。感染症対応マニュアルの策定についても策定しましたので周知して参ります。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				○		避難訓練等は計画的に実施しています。コロナ禍で保護者の皆様への情報発信が十分ではありませんでした。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	○				子どもはとても楽しみに通わせてもらっています。	現状に満足せず、職員一人一人が更なる向上を目指します。
	18	事業所の支援に満足しているか	○				何でも話せるスタッフさんの対応にありがたく思っています。	同上

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。